

第二回

地域支援員全体研修会 実施のご報告



品川区社会福祉協議会
支え愛・ほっとステーション
※お問い合わせは各地区の支え愛・
ほっとステーションまでお願いいたします



令和元年度第二回目地域支援員全体研修会を令和2年2月5日（火）に実施しました。当日はお天気にも恵まれ、32名の地域支援員に参加していただきました。

第一部は「聴覚障害者の特性と聴導犬の役割を知り、それぞれの理解を深め地域活動に役立つ知識を得よう！」と題し、日本聴導犬推進協会の神嶋様と聴導犬のさやちゃんに講義をしていただきました。聴覚に障害がある、と一言で表しても、耳の部位によって聞こえづらさは変わり、いつから聞こえなくなったかでもその後の生活に大きく影響することが分かりました。

神嶋様が「音が聞こえないと困ることは何ですか？」と会場に尋ねると「インターホン」「車」「電話」など、地域支援員から積極的な声が聞かれました。



その後、聴導犬のさやちゃんがユーザーの方とどのような関わりをしているのか実際に見せていただきました。音が鳴ると、前足で気づかせ音の場所を教えたり、布団を被って寝ているところに目覚まし時計が鳴ると、体全体を使って布団をはがして起こしていました。

24時間365日フル活動の聴導犬ですが、休んでリラックスすることも出来ているそうです。また、褒めたりご褒美をあげることで、どのような音をユーザーに教えたら良いか学習し楽しく仕事しているとのことでした。聴導犬は全国に68頭しかいなく、必要な方が出会えるのは現在2年待ちとのことでした。

講義終了後は「地域で聴覚障害の方が子育てをしていますが、聴導犬に赤ちゃんの声は聞こえますか？」「町の中でいろいろな音がありますが、聞き分けられるんですか？」など地域支援員より質問があり、みなさま興味を持って聞かれていました。

第二部は6グループに分かれ「お互いに見守り合う・支え合うために～ともに活動できる仲間を増やす～」をテーマに話し合いをしました。活発な意見交換が行われ、話し合いの後はグループごとに発表したくさんのご意見やご感想がありました。

令和2年度も研修会を実施する予定ですので、みなさまのご参加をお待ちしております！



挨拶をする

聴導犬について知人に教えてあげたい

ほどほどの興味とお節介



お互いに見守り合う・支え合うために～ともに活動できる仲間を増やす～



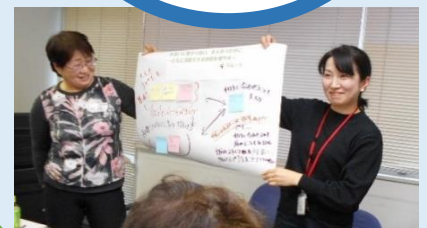
見て見ぬふりはダメ！

多世代交流の場があったらいいな！



いろいろな方と話ができて良かった

ランチ会やクラブ活動で見守り♪



相手に合わせるのに疲れたら…みんなで話したらいいね！

お金じゃなくて声をかける！

